

21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

PRESS RELEASE

2021.6.8



金沢21世紀美術館 友の会
館長トーク

長谷川祐子
未来支度の部屋 vol.1
「建築の未来支度」

2021年6月15日(火)
18:30～20:00

長谷川祐子新館長のトークシリーズ「未来支度の部屋」が始まります
第1回「建築の未来支度」のゲストは、妹島和世+西沢立衛 / SANAA
当日ご来場いただけない方、一般の方向けにYouTubeでライブ配信

プログラム名	金沢21世紀美術館 友の会 館長トーク 長谷川祐子 未来支度の部屋 vol.1 「建築の未来支度」
日時	2021年6月15日(火) 18:30～20:00
会場	金沢21世紀美術館 シアター21
定員	60名(友の会会員限定) ※定員に達したため、締め切りました。 ※当日ご来場いただけない方、一般の方向けにYouTubeでライブ配信を行います。 (新型コロナウイルス感染拡大の状況によりライブ配信のみになる場合があります) YouTube金沢21世紀美術館公式チャンネル https://youtu.be/RJXjggw2pLk
料金	無料
主催	金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2814 ※会場でのご取材希望の方は、6月14日までに美術館広報課へご連絡ください。 お席をご用意いたします。なお、当日トーク中の写真撮影はご遠慮ください。 こちらから写真をご提供します。

本資料に関するお問合せ 金沢21世紀美術館
友の会担当:酒井利佳、本多瑠美(広報課)、広報担当:石川聰子、落合博晃(広報課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<https://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



概要

今、私たちは大きな転換点を迎えています。さらにコロナウイルスの世界的な感染拡大により、加速度をつけ様々なシステムが変わりつつあります。

美術館もそうした環境と無関係ではありません。これから始まる「館長トーク 長谷川祐子『未来支度の部屋』」では、様々なジャンルで未来を模索しながら先端を走り続けるゲストをお迎えし、それぞれの視点から“今”を捉え、未来を迎えるにあたりその指針や希望をひもとき、皆さんとともに未来支度を始めます。

第1回の「建築の未来支度」のゲストは、妹島和世+西沢立衛 / SANAA。もちろん金沢21世紀美術館の建築の設計者です。美術館建設当時の秘話からその後の活動、そしてそれらを経て建築の未来はどのような変化を遂げるのか、SANAAのお二人とともに長谷川祐子新館長が語ります。

プロフィール**SANAA**

妹島和世と西沢立衛による建築家ユニット。1995年東京にて設立。2004年ヴェネチアビエンナーレ国際建築展金獅子賞、2010年プリツカー賞など数多くの賞を受賞。主な作品に、金沢21世紀美術館、Dior表参道、ニューミュージアム（アメリカ）、Rolexラーニングセンター（イス）、ルーヴル＝ランス（フランス）、グレイス・ファームズ（アメリカ）など。

**妹島 和世（せじま かずよ）**

1956年生まれ。1981年日本女子大学大学院修了。1987年妹島和世建築設計事務所設立。1995年西沢立衛とSANAA設立。現在、横浜国立大学大学院建築都市スクール(Y-GSA)教授、ミラノ工科大学教授、日本女子大学客員教授、大阪芸術大学客員教授。

西沢立衛（にしざわ りゅうえ）

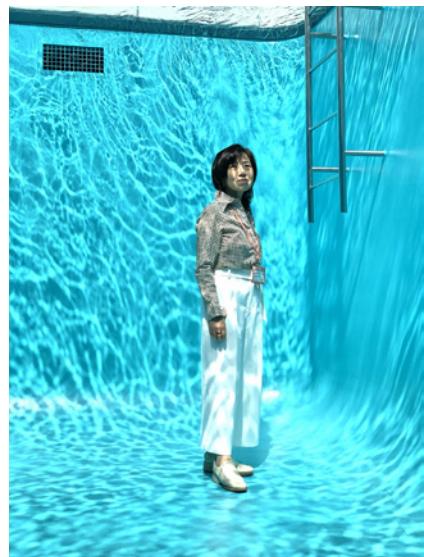
1966年生まれ。1990年横浜国立大学大学院修了。妹島和世建築設計事務所を経て1995年妹島和世と SANAA 設立。1997年西沢立衛建築設計事務所設立。現在、横浜国立大学大学院 Y-GSA 教授。

長谷川祐子

金沢21世紀美術館 館長 / 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授

キュレーター／美術批評。京都大学法学部卒業。東京藝術大学美術研究科修士課程修了。水戸芸術館学芸員、ホイットニー美術館客員キュレーター、世田谷美術館学芸員、金沢21世紀美術館学芸課長及び芸術監督、東京都現代美術館学芸課長及び参事を経て、2021年4月から現職。犬島「家プロジェクト」アーティスティック・ディレクター。文化庁長官表彰（2020年）、フランス芸術文化勲章（2015年）、ブラジル文化勲章（2017年）を受賞。これまでイスタンブル（2001年）、上海（2002年）、サンパウロ（2010年）、シャルジャ（2013年）、モスクワ（2017年）、タイ（2021年）などでのビエンナーレや、フランスで日本文化を紹介する

「ジャパノラマ：日本の現代アートの新しいヴィジョン」、「ジャポニスム 2018：深みへ—日本の美意識を求めて—」展を含む数々の国際展を企画。国内では東京都現代美術館にて、ダムタイプ、オラファー・エリソン、ライゾマティクスなどの個展を手がけた他、坂本龍一、野村萬斎、佐藤卓らと「東京アートミーティング」シリーズを共同企画した。主な著書に、『キュレーション 知と感性を揺さぶる力』、『「なぜ？」から始める現代アート』、『破壊しに、と彼女たちは言う：柔らかに境界を横断する女性アーティストたち』など。



3

金沢21世紀美術館 友の会について

当館友の会は、教育、創造、エンターテインメント、コミュニケーションの場など、新たな「まちの広場」としても機能する 美術館をもっと身近な存在として何度も楽しんでいただきたいと考え、2004年の開館とともに設立。友の会会員になると、主催展覧会を1年間に何度もご覧いただけます。また、会員限定イベントへのご参加、会員限定会報誌のお届け、その他にも様々な特典を受けることができます。

会員区分と年会費

メンバー：（一般）3,000円、（小中高生）1,000円、（学生）2,000円

ファミリーメンバー：

（2名）4,500円、（3名）5,000円、（4名）6,000円、（5名）7,000円、（6名）8,000円

※小中高生、学生は来館入会のみ、要学生証。

友の会の主な会員特典

- ① 主催展覧会（特別展及びコレクション展）が1年間入場無料
- ② 会員限定プログラムへのご参加
- ③ 会員限定会報誌のお届けなど

Member



広報用画像

画像1～3を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、広報課へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム▶ https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。